

災害時のトイレ 下水道フォーラム

入場
無料

集合住宅でのトイレ対策を実践から学ぼう

東京と大阪の住民2000人にアンケートを行ったところ、大地震で地域全体が停電・断水している時、自宅避難を希望する人は67.2%でした。一方で、自宅に災害用トイレを備えている人はわずか16.9%でした。大きな地震や水害が起きると停電・断水により多くの水洗トイレは使用できなくなります。建物が大丈夫でも、トイレがなければそこで生活を継続することができません。

そこで、本フォーラムでは集合住宅におけるトイレ対策のあり方を考えるため、下水道と給排水設備の仕組みとつながりを学びます。また、集合住宅でのトイレの備えや点検方法について実践的に取り組む事例を紹介します。携帯トイレ、簡易トイレ、仮設トイレ、マンホールトイレなど、様々な災害用トイレのパネル展示もあります。

【日 時】2019年 8月 9日（金）12時～16時

【会 場】パシフィコ横浜 アネックスホールF205/F206【裏面参照】

【プログラム】

12:00 災害用トイレのパネル展示

13:00 開会挨拶
公益社団法人日本下水道協会（予定）

13:10 趣旨説明
加藤 篤 特定非営利活動法人日本トイレ研究所 代表理事

13:30 意見交換 集合住宅でのトイレ対策を実践から学ぼう
新田 巧氏（横浜市環境創造局下水道管路部管路保全課長）
宮良 拓百氏（一般社団法人日本建築設備診断機構）
市川ゆかり氏（マンション居住者(防災トイレアドバイザー)）

14:30 災害用トイレのパネル展示

15:00 集合住宅でのトイレ対応Q&A
参加者から寄せられた質問にお答えするとともに、
集合住宅で取り組むべきトイレ対策について意見交換します。
【パネリスト】：新田巧氏、宮良拓百氏、市川ゆかり氏
【進 行】：特定非営利活動法人日本トイレ研究所

16:00 閉会



フォーラムの様子

※プログラムは変更となる場合がございますので、ご了承ください